

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 河西福祉会 アンシアナトー		公表日		年 月 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		2	3
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		5		送迎時に2人体制。行事等に合わせて職員を配置。	今後も継続していく。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	2	視覚支援が少ない。車いす・バギーを使用している児童がゆっくりできるスペースが少ない。	今以上に特性に合った空間作りになるように努める。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1	毎日掃除はしている。	今後も継続していく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		1	4	クールダウン・おむつ交換の場所はあり。車いす・バギーを使用している児童がゆっくりできるスペースが少ない。	子ども達が過ごしやすい環境作りに努める。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		意見は出し合っている。月に1回会議を実施。	今後も業務改善・月1回の会議は継続していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	1		今後も業務改善に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	1		今後も業務改善に努める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	4		第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5		法人内研修あり。	法人内研修に参加する。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5			公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5		ケアカンファレンスの実施。	ケアカンファレンスを開催。ニーズを把握し、計画を作成していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5			今後も継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5			今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4	1	全員ではない。できている子・できていない子がいる。	できていない子に関しては、検討していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5			今後も継続していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5			今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		5			今後も継続していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	その日にできないこともある。気づいた事は、共有している。	その日にできない場合もある為、気づいた点など共有は続ける。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	3		担当者会議に参加する際は、こどもの状況を理解した職員が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			今後も情報共有に努める。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		今後も情報共有に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		問い合わせがあった場合は、情報共有に努める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		助言や研修を受ける機会があれば、時間を作り設けるようにする。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	そのような機会はない。	現状交流する機会は設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		機会があれば、参加するようにする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時等、面会できる際に課題等を話している。	今後も継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	研修は受けていない。	ペアレント・トレーニング等のガイドブックを参照し理解を深める。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時・必要に応じて、都度説明をしている。	今後も丁寧に説明を続ける。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者様・利用児の意見や様子を尊重している。	今後も、ご家族様・子ども達の意思を尊重していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			今後も、支援内容を丁寧に説明し理解していただけるように努める。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	送迎時・電話連絡などで助言や支援を行っている。	今後も継続していく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		父母の会などの交流の場は設けていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		当日リーダー制を導入し、迅速に対応できるようにしている。	今後も、継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	あんしだより・HPを活用している。	活動内容や様子など、わかりやすく発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		取り扱いには、気を付けている。	今後も、継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		わかりやすく伝わるように配慮をしている。	今後も、継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	以前は夏まつりの際、地域住民も参加できる機会を設けていた。	地域住民を招待できる活動を考えるようにする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		発生を想定した、研修は行っている。	今後も、継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		法人内の避難訓練に参加している。	避難訓練実施日には、参加する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時・必要に応じてご家族様に確認をしている。	今後も、継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		現在、医師の意見書が必要な児童は利用していない。	必要に応じて、対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		法人内研修あり。	今後も、継続して行く。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		ご家族様との連携は図れている。	今後も、継続して行く。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリ・ハット等は会議で話し合っている。	今後も、継続して行く。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		法人内研修あり。	今後も、継続して行く。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		現状、利用児で身体拘束の同意を得ている利用児はいない。	身体拘束は行わず、代替案を考えるように努める。	